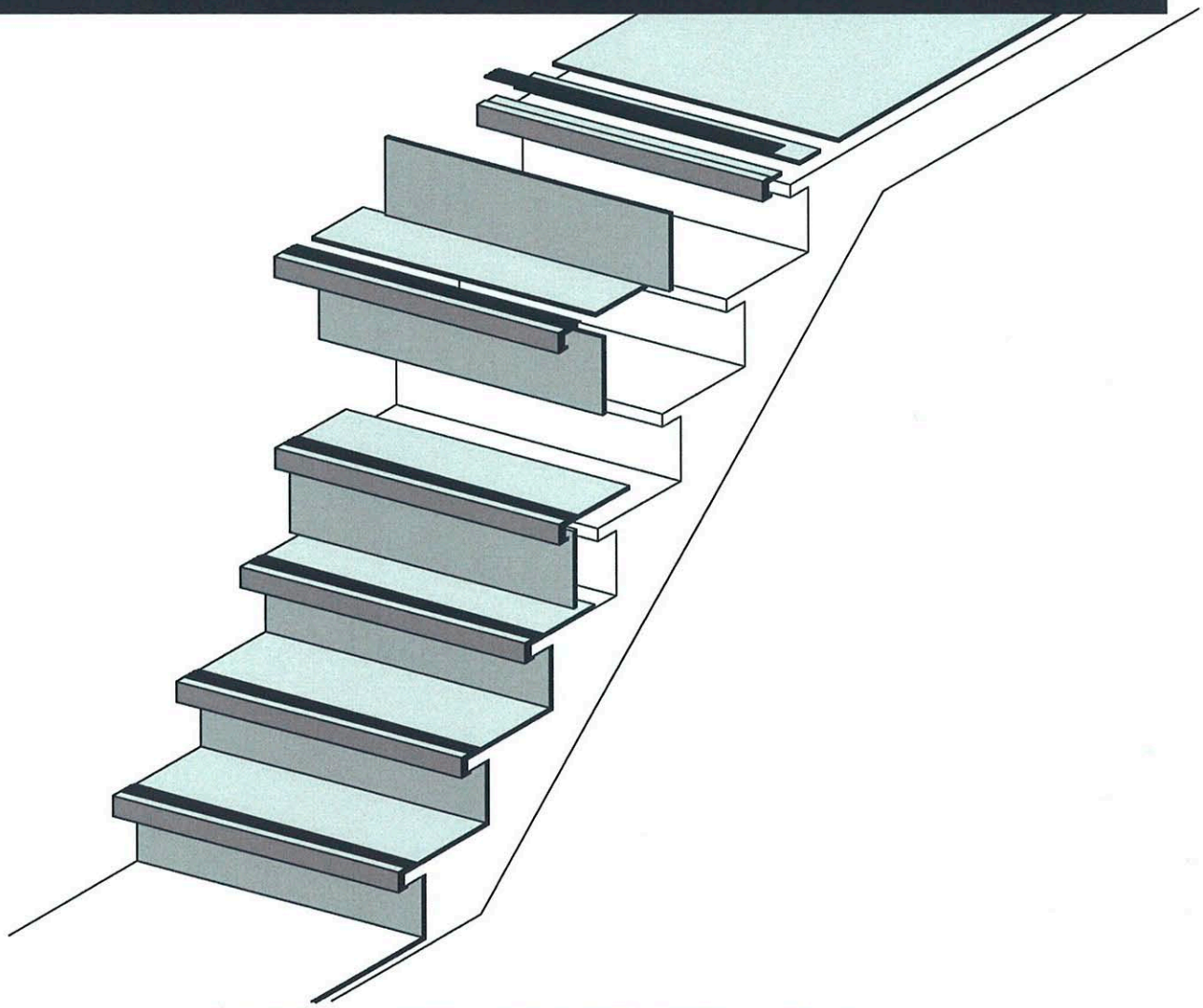
アメニティデザイン企業

DAIKEN

施工後、必ずお施主様にお渡しください。

ダイケンリモデル階段部材SⅡ
施工説明書
取扱説明書

本リモデル階段は、上階と下階に６mmフロアもしくは12mmフロアを重ね貼りすることを前提としています。
フロアを重ね貼りしない場合、本リモデル階段は、使用できませんので、ご注意ください。



この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。

大建工業株式会社

リモデルカイダンSⅡ/R1

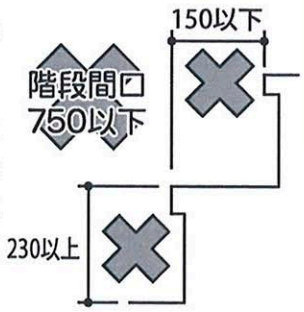
必ずお守りいただきたいこと

ダイケンリモデル階段部材を長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下の事を必ずお守りください。

⚠ 警 告

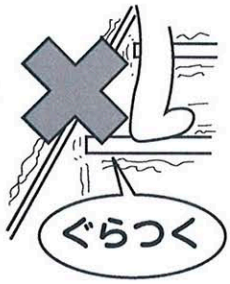
建築基準法から外れた施工をしないこと。

建築基準法から外れた施工をすると、つまづきや踏みはずしの危険性が増します。必ず遵守してください。



接着剤が完全に硬化（夏期：約1日、冬期：約2日）するまで階段の昇降はしないこと。

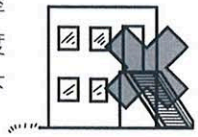
リモデル階段部材を既存階段にしっかりと、取付けてください。



⚠ 注 意

業務用や屋外に施工しないこと。

一般家庭の屋内用です。業務用や屋外、浴室内などに使用すると使用頻度オーバー、劣化、変形し破損により落下しケガをする恐れがあります。



・リモデル階段部材ＳⅡを既存階段に取り付ける際には、指定した接着剤を使用し、規定通り塗布してください。

階段ボンドウレタンＬＶアルミパック２Ｋ３
（ＣＬ９０２－０２）

・接着剤に掲載している使用方法、注意事項を守ってください。
・使用する接着剤が皮膚に付着したり、蒸気を吸引すると、中毒や障害を起こす恐れがあります。
・接着剤を使用する際は、作業場所の換気を充分に行ってください。

家屋の虫（ヒラタキクイムシ等）発生防止をすること。

階段部材は木質製品なので、虫（ヒラタキクイムシ等）が移り産卵、食害すると穴があいたり、へこんだり、割れたりし、強度がおち、落下しケガをする恐れがあります。

・施工前に必ず既存階段及びその周辺構造物のチェックを行ってください。
・本商品は化粧材ですので、既存階段及びその周辺物は積載荷重に充分耐えうる構造が必要です。必要であれば事前に補強を行ってください。
・施工前に必ず既存階段の（踏み鳴りの有無等）状態を確認してください。
リモデル階段を取り付けても、踏み鳴りは直りません。

危険の定義とシンボルマーク

本施工説明書では 【警告】【注意】 を右のような定義で使用しています。

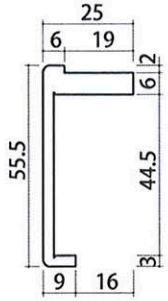
⚠警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

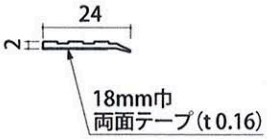
商品概要

寸法図

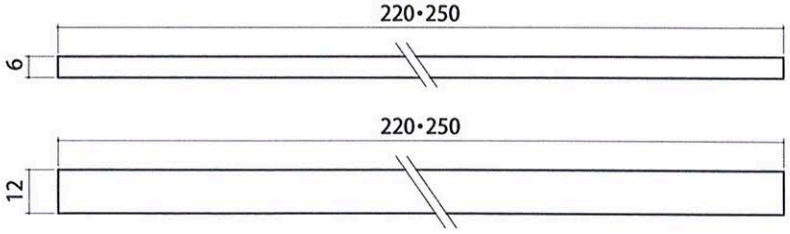
段鼻部材



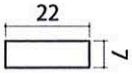
ノンスリップ材



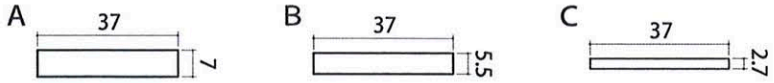
踏面化粧材



スペーサー材

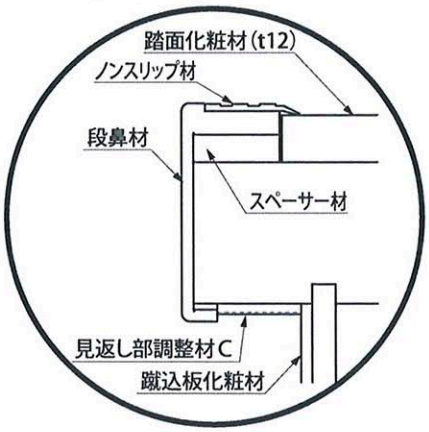


見返し部調整材

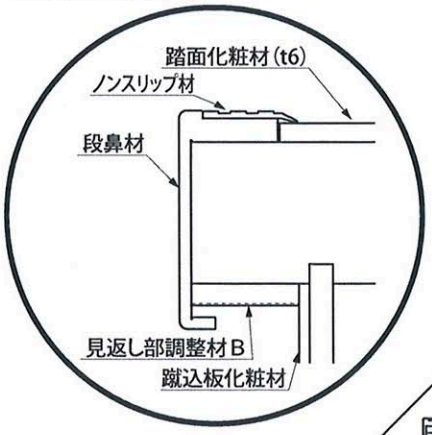


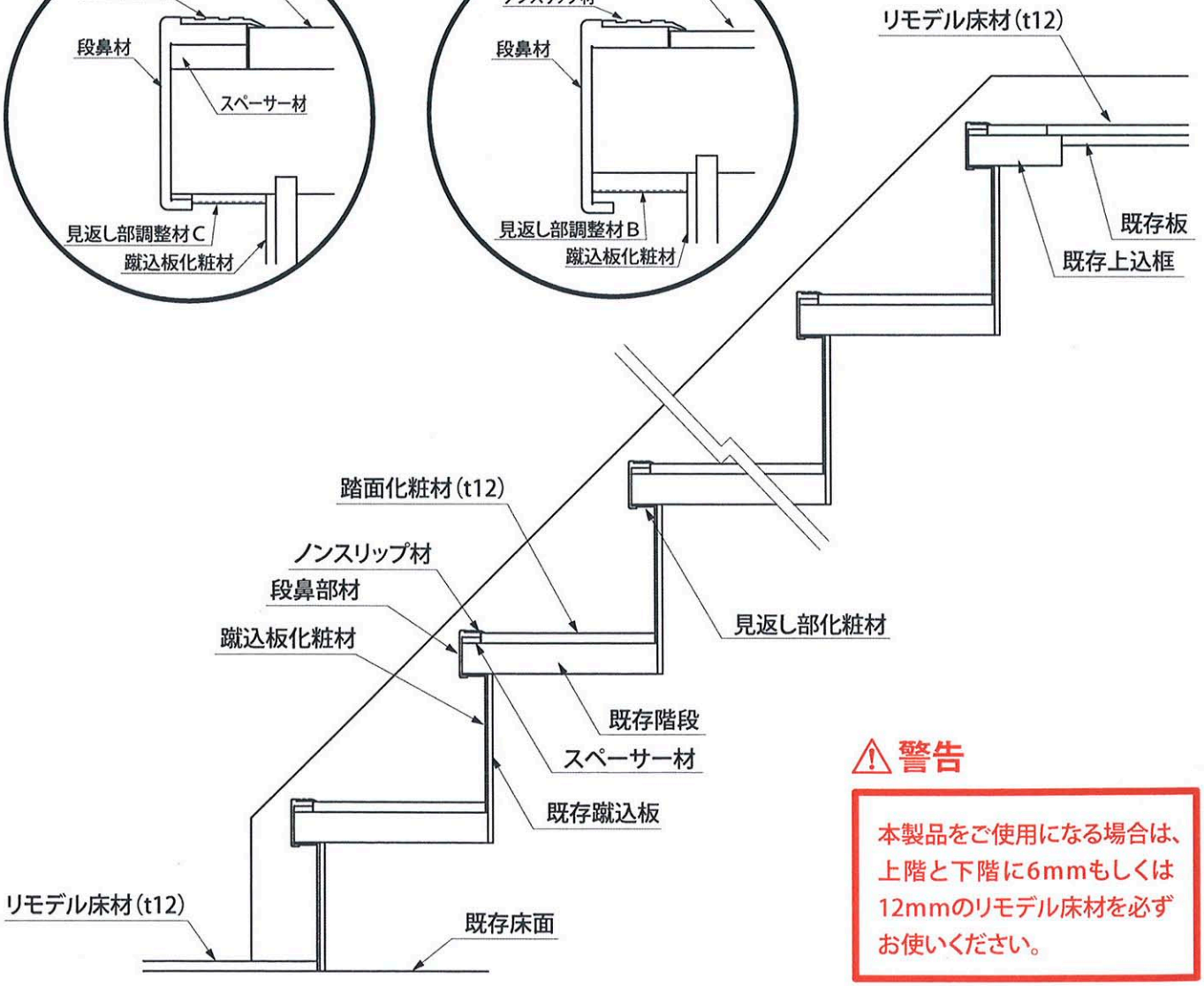
納まり図

12mmリモデル時



6mmリモデル時





⚠警告

本製品をご使用になる場合は、上階と下階に6mmもしくは12mmのリモデル床材を必ずお使いください。

施工手順

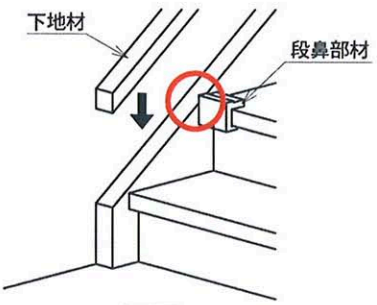
1. 施工の前に

①金属、コンクリート下地の階段には施工できません。
②巾木、カーペットなどを取り除き、下地の接着剤をきれいに取り除いてください。
③既存階段の表面をサンドペーパーなどで削り、油分（ワックスなど）や塗膜を取り除き、不陸を押さえ平滑にしてください。（上記の下地処理を行わないと、接着不良の原因となり、踏面化粧材等がしっかりと取付けされない恐れがあります）
④本製品の施工には、一般的な大工道具以外に、以下の工具等が必要となります。事前にご用意ください。
はさみ　タッカー　隠しクギ

2. 側桁化粧材・廻側板化粧材の取付け

〔側桁・廻側板をリフォームしない場合は、3.蹴込板化粧材の取付けに進んでください〕

注：側桁化粧材・廻側板化粧材を取付けても、階段の有効幅が750mm以上（建築基準法）あることをご確認の上、取付けてください。（側桁化粧材・廻側板化粧材の厚さは３mmあります）

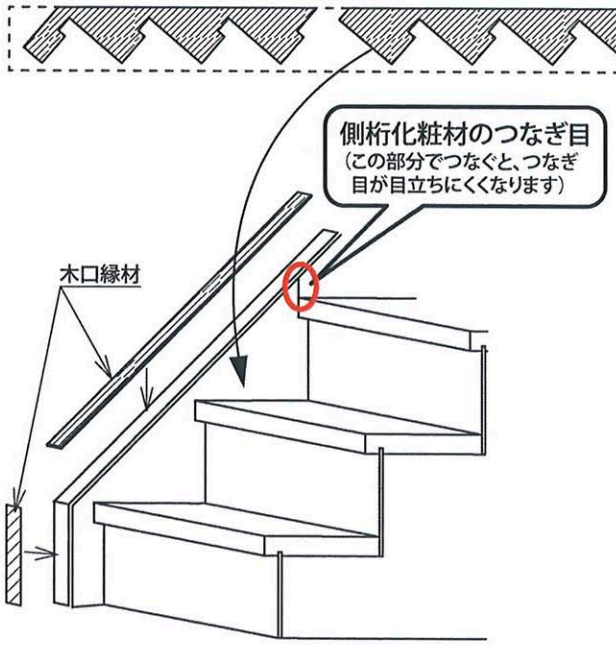


図・1

①**図・1**のように段鼻部材・スペーサー材（12mmリモデル時のみ使用）の端材を用いて、段鼻部材が既存階段の側桁・廻側板から飛び出さないか確認ください。

注：三段廻りの二段目の段鼻部分が既存階段の廻側板から、飛び出す場合が多いため必ずご確認ください。

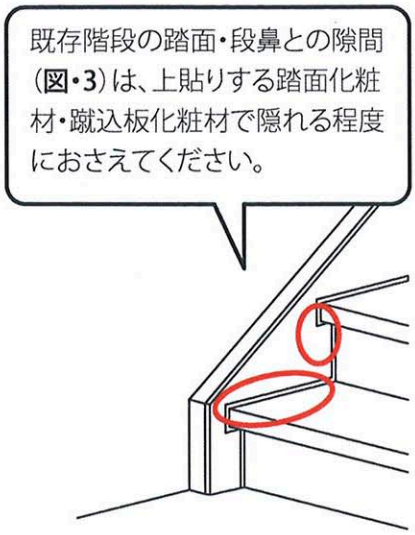
②段鼻部材が、既存階段の側桁・廻側板から飛び出す場合には、下地材（現場調達）を取付けてください。



図・2

③下地材（現場調達）を取付けた後、側桁化粧材・廻側板化粧材を取付ける作業を行ってください。
④側桁化粧材（廻側板化粧材）を、**図・2**の様に既存階段の側桁（廻側板）の勾配・踏面寸法・蹴上寸法に合せて切断してください。
ポイント：側桁化粧材を４段程度の長さで切断すると、取付けがしやすくなります。

注：既存階段の寸法は、各段によって多少の違いがある場合があります。
一段一段の寸法を測ってから切断を行ってください。



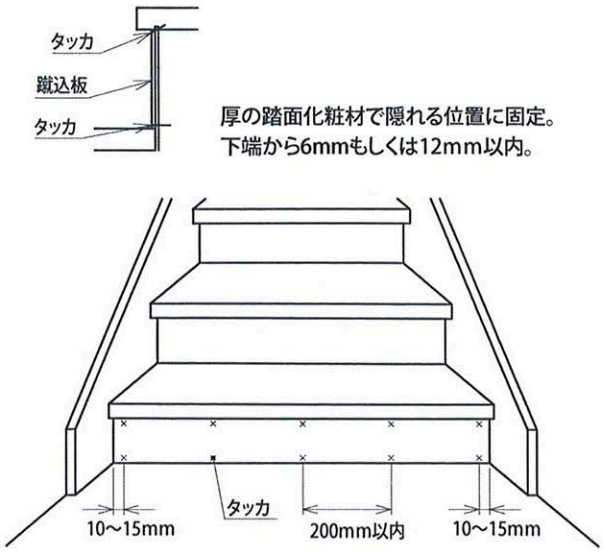
図・3

⑤側桁化粧材（廻側板化粧材）の裏面と、既存階段の側板（廻側板）の表面の両方に、ゴム系速乾接着剤（現場調達：コニシボンド速乾ボンドG10推奨）を塗布し、隠し釘で取付けてください。

注：接着剤に掲載の使用法、注意事項を守ってください。

⑥側桁化粧材（廻側板化粧材）のはみ出した部分は、接着剤の硬化後にカンナ等で削り落としてください。
⑦同梱の化粧単板の長さを切断し、木口縁材の裏面と既存階段の側桁（廻側板）の木口面の両方に、ゴム系接着剤を塗布し、取付けて下さい。
⑧木口縁材がはみ出した部分は、接着剤の硬化後にカッター等で削り落としてください。

3. 蹴込板化粧材の取付け



図・4

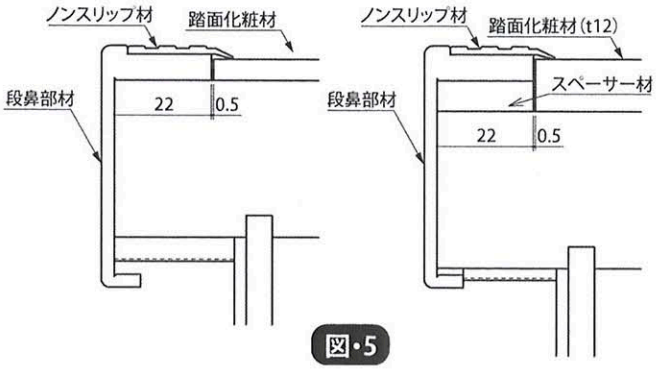
①蹴込板の長さを側桁（側桁がない場合は壁）の内々寸法に合せて切断してください。
②既存階段の蹴込板にあわせて蹴込板の幅を切断してください。

注：既存階段の寸法は、各段によって多少の違いがある場合があります。一段一段の寸法を測ってから切断を行ってください。

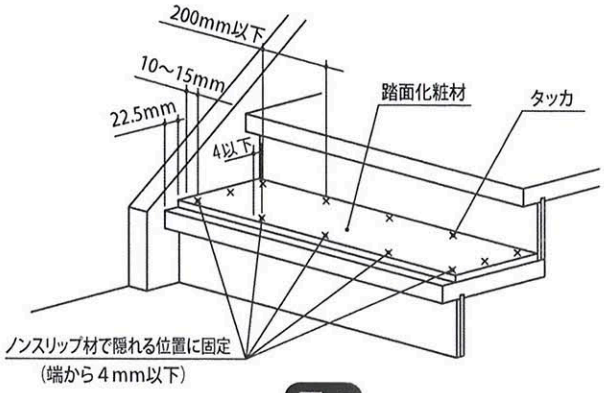
③既存階段の蹴込板の表面をサンドペーパーなどで削り、油分や塗膜、樹脂シートを取り除き、平滑にしてください。
④蹴込板化粧材の裏面に施工用接着剤（別売の階段ボンドウレタンアルミパック２K３　CL902-02）を塗布し、タッカで約10ヶ所（**図・4**参照）固定してください。

施工手順

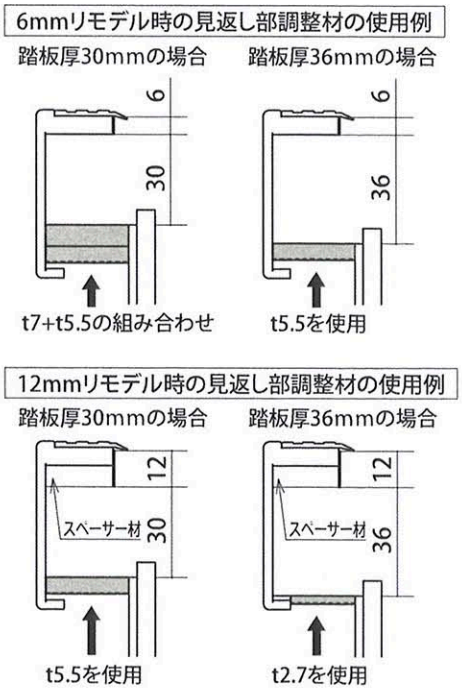
4-1.踏面化粧材・段鼻部材の取付け



図・5



図・6



図・7

①踏面化粧材の長さを、側桁(側桁がない場合は壁)の内々寸法に合わせて切断してください。

②踏面化粧材の奥行き巾を、3.で貼り付けた蹴込板の前面を基準面として下図のように段鼻部材(22mm)と標準隙間(0.5mm)分を引いて切断してください。
(目安:既存階段の踏面寸法+鼻の出−蹴込板厚3mm−22.5mm)
この時、バリ・ササクレを防止するため、踏面化粧材の化粧面にマスキングテープなどを貼ってから切断することをお勧めします。

注:既存階段の寸法は、各段によって多少の違いがある場合があります。一段一段寸法を測って切断してください。

③接着する前に、仮置きし、隙間がないことを確認してください。

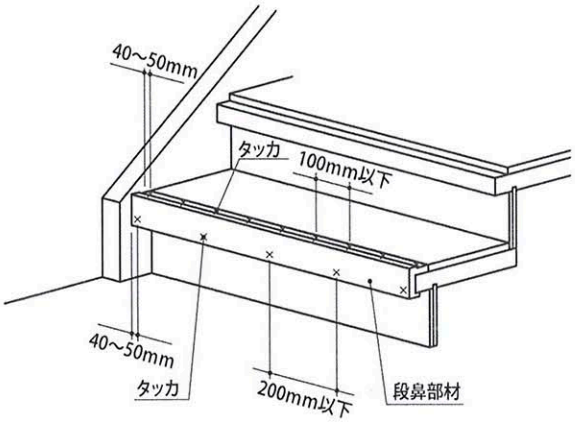
④既存階段の表面をサンドペーパー等で削り油分(ワックス等)や塗膜を取り除き、不陸を押さえ平滑にしてください。
また、表面のゴミを取り除いた後、接着してください。

⑤接着剤(別売の階段ボンドウレタンアルミパック2K3 CL902-02)を、踏面化粧材の裏面に塗布し、隠し釘で約12ヶ所(**図・6**参照)固定してください。
(階段ボンドウレタンLV アルミパック2K3 (CL902-02))
塗布量の目安:500~600g/㎡

注:接着剤に掲載の使用法、注意事項を守ってください。
注:接着剤が完全に硬化(夏期:約1日、冬期:約2日)するまで階段の昇降は、しないでください。

⑥見返し部調整材の巾、長さを既存階段の段鼻見返し部にあわせて切断してください。見返し部調整材の使用厚み、納まりについては、**図・7**を参照してください。

⑦見返し部調整材の裏面に接着剤階段ボンドウレタンLVアルミパック2K3を塗布し、タッカもしくは隠し釘で固定してください。(約5ヶ所200mmピッチ以内)



図・8

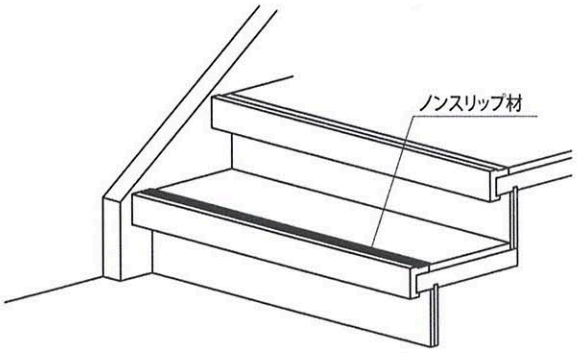
⑧段鼻材、スペーサー材（12mmリモデル時のみ使用）の長さを、側桁（側桁がない場合は壁）の内々寸法に合わせて切断してください。
この時、バリ・ササクレを防止するため、段鼻材の化粧面にマスキングテープなどを貼ってから切断することをお勧めします。

⑨階段ボンドウレタンLVアルミパック２K３を段鼻材、スペーサー材（12mmリモデル時のみ使用）の裏面に塗布し、溝部分はタッカで約8ヶ所（**図・8**参照）固定し、前面はタッカで約５ヶ所（**図・8**参照）固定してください。（前面のタッカ跡はクレヨンパテ等で補修ください。）

注：既存階段の寸法は、各段によって多少の違いがある場合があります。一段一段の寸法を測ってから切断を行ってください。
注：段鼻部材の固定にビスは使用しないでください。段鼻部材が割れることがあります。

⑩ノンスリップ材の長さを、段鼻部材の寸法に合わせて切断してください

注：ノンスリップ材を切断する際は、ハサミを使用してください。丸鋸・カッター等で切断すると、切断面にバリがつくことがあります。



図・9

注：既存階段の寸法は、各段によって多少の違いがある場合があります。一段一段の寸法を測ってから切断を行ってください。

⑪段鼻部材の溝部分を空拭きし、ゴミ等を除いてください。
⑫両面テープの剥離紙を剥がし、段鼻部材の溝部分に取り付け、よく押さえてください。

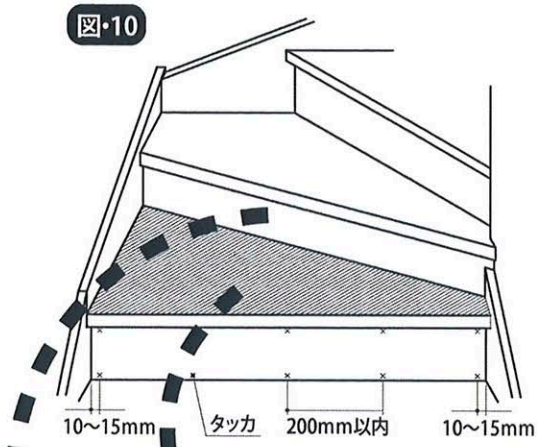
施工手順

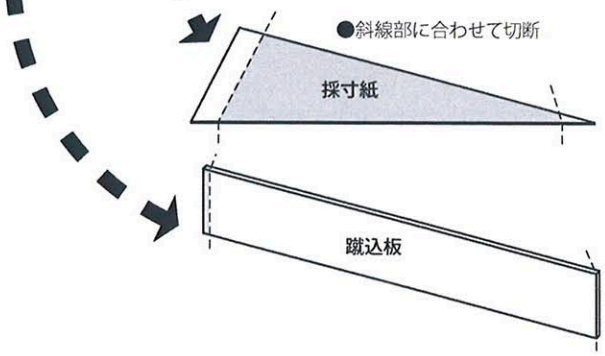
4-2.廻踏化粧板の取付け

①廻踏板化粧材・踊り場化粧材に同梱してある採寸紙を既存階段に合わせて切断してください。(**図・10**参照)
②切断した採寸板を更に22.5mm切断してください。(**図・10**参照)
③採寸紙を利用して、廻踏板化粧材・踊り場化粧材に墨付けを行い、切断してください。(**図・10**参照)
この時、バリ・ササクレを防止するため、廻踏板化粧材・踊り場化粧材の化粧面にマスキングテープなどを貼ってから切断することをお勧めします。

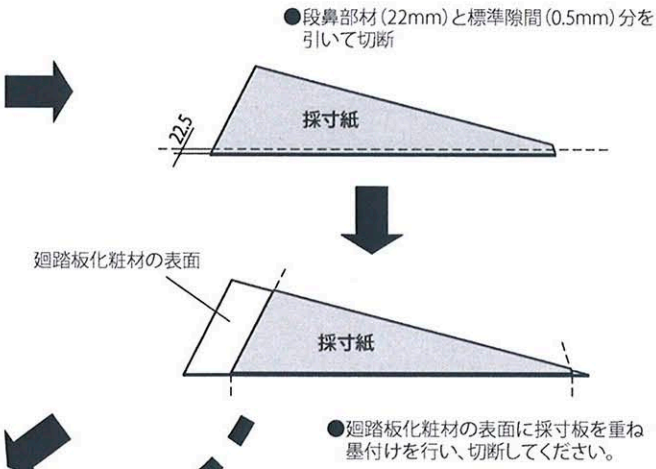
注:既存階段の寸法は、各段によって多少の違いがある場合があります。一段一段の寸法を測ってから切断を行ってください。

図・10

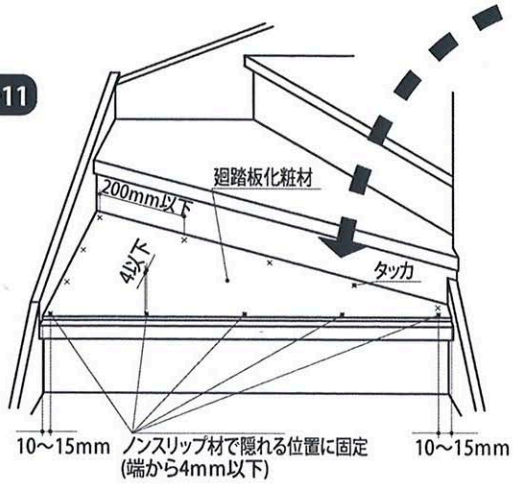




注:蹴込板は、角度に合わせてカンナ等で削ってください。(上図参照)



図・11

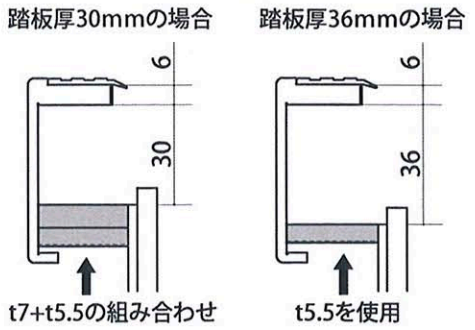


④接着する前に、仮置きし、隙間がないことを確認してください。
⑤既存階段の表面をサンドペーパー等で削り油分(ワックス等)や塗膜を取り除き、不陸を押さえ平滑にしてください。
また、表面のゴミを取り除いた後、接着してください。
⑥接着剤(階段ボンドウレタンLVアルミパック2K3(CL902-02))を踏板化粧材の裏面に塗布し、隠し釘で約10ヶ所(左図参照)固定してください。
階段ボンドウレタンLVアルミパック2K3(CL902-02)
塗布量の目安:500~600g/㎡

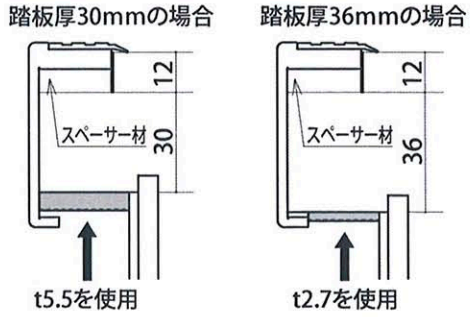
注:接着剤に掲載の使用法、注意事項を守ってください。
注:接着剤が完全に硬化(夏期:約1日、冬期:約2日)するまで階段の昇降はしないでください。

図・12

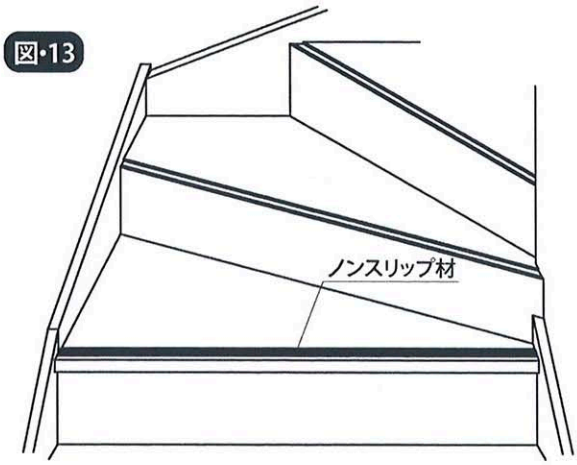
6mmリモデル時の見返し部調整材の使用例



12mmリモデル時の見返し部調整材の使用例



図・13



⑦見返し部調整材の巾、長さを既存階段の段鼻見返し部にあわせて切断してください。見返し部調整材の使用厚み、納まりについては、**図・12**を参照してください。
見返し部調整材の裏面に接着剤階段ボンドウレタンＬＶアルミパック２Ｋ３（CL902-02）を塗布し、タッカもしくは隠し釘で固定してください。（約5ヶ所200mmピッチ以内）

⑧段鼻部材・スペーサー材（12mmリモデル時のみ使用）の長さを、側桁（側桁がない場合は壁）の内々寸法に合わせて切断してください。
この時、バリ・ササクレを防止するため、段鼻部材の化粧面にマスキングテープなどを貼ってから切断することをお勧めします。

⑨階段ボンドウレタンＬＶアルミパック２Ｋ３を段鼻部材・スペーサー材（12mmリモデル字のみ使用）裏面に塗布し、溝部分はタッカで固定し（**図・13**参照）、前面は隠し釘で固定（**図・13**参照）してください。

注：既存階段の寸法は、各段によって多少の違いがある場合があります。一段一段の寸法を測ってから切断を行ってください。
注：段鼻部材の固定にビスは使用しないでください。段鼻部材が割れることがあります。

⑩ノンスリップ材の長さを、段鼻部材の寸法に合わせて切断してください。

注：ノンスリップを切断する際は、ハサミを使用してください。丸鋸・カッター等で切断すると、切断面にバリがつくことがあります。

注：既存階段の寸法は、各段によって多少の違いがある場合があります。一段一段の寸法を測ってから切断を行ってください。

⑪段鼻部材の溝部分を空拭きし、ゴミ等を除いてください。
⑫両面テープの剥離紙を剥がし、段鼻部材の溝部分に取り付け、よく押さえてください。

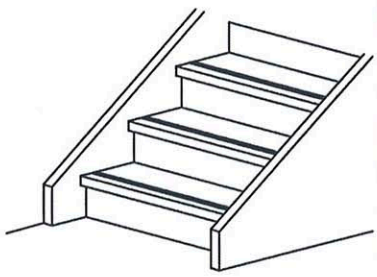
施工手順

5. 端部の納まり

パターン1
納め部材なし

側桁納めで、側桁と踏板、蹴込板の間に隙間が出来ないように納める場合。

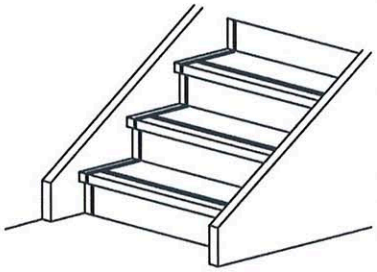
わずかな隙間はジョイントコーク等で、充填してください。



パターン2
側桁見切テープ納め

側桁納めで、側桁と踏板、蹴込板の間の隙間を側桁見切テープで隠す場合。

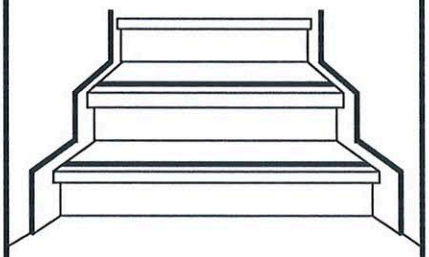
側桁見切テープは、裏面の両面テープのハクリ紙をはがして貼り付けてください。



パターン3
巾木納め

巾木納めで、壁(クロス)と踏板、蹴込板の間の隙間を巾木で隠す場合。

巾木は、段鼻部材の施工前に取り付けてください。



※廻り部の内回り部分は、特に隙間が発生しやすいので、側桁見切テープを、ご使用ください。

6. 施工後の確認

●施工完了後は、接着剤の硬化（夏期：約１日、冬期：約２日）を待って、隠し釘の頭を飛ばして、別売のペンシルパテ（ＭＴ５６２０－■■）で補修ください。必ず、釘頭が飛び出ていないか確認してください。

●踏板化粧材および段鼻部材がしっかりと取付けられているか、確認ください。しっかりと固定されていないと、転倒する恐れがあり危険です。

●踏板表面に傷がつかないように、養生シートで覆い床材用養生テープで止めてください。

●床用以外の粘着力の強いテープを用いた場合、塗膜や単板が剥がれる場合がありますので、当社では責任を負いかねます。

●養生テープを剥がす際にはゆっくりと剥がしてください。テープを急に剥がすと、塗膜が剥がれる可能性があります。

取扱説明書

お手入れの方法

●お手入れは、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジンなどを使用すると表面の艶が変わったり、樹脂部分が溶ける場合がありますので、避けてください。

●ワックスがけはしないでください。
ワックスがけをすると、すべりやすくなりケガをする恐れがあります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品
ダイケンリモデル階段部材SII

■保証期間
施工完了後2年とさせていただきます。
弊社商品に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合は有料となります。

①建物の設計・施工に起因する場合
②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合
③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合
④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合
⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など
⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合
⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責によらない場合

ご相談窓口について ●製品に関するお取り扱い、補修、工事などのご相談は、工務店へ。●DAIKENへ直接ご相談される場合は、下記窓口へお願いします。

製品に関するお問い合わせご相談
DAIKENお客様相談室
0120-787-505
(フリーダイヤル)
● 携帯・PHSからは
TEL 06-6452-6000へお電話ください。
● 受付時間…平日9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています)

修理に関するお問い合わせご相談
ダイケンサービス株式会社
06-6452-6032
● 受付時間…平日9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています)

修理・交換部品のご購入の方は
DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。
http://www.daiken.jp/service/
DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶ ▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における個人情報のお取扱い
大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針(プライバシーポリシー)」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。(大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。)尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

北海道営業部	☎011-856-2202	長岡営業所	☎0258-33-5734	北陸営業部	☎076-262-3211	高知事務所	☎088-885-6202
札幌営業所	☎011-856-2202	松本営業所	☎0263-40-0370	金沢営業所	☎076-262-3211	九州営業部	☎092-413-2345
帯広事務所	☎0155-25-8421	首都圏営業部	☎03-5386-5957	富山事務所	☎076-429-7250	福岡営業所	☎092-413-2345
旭川営業所	☎0166-24-1377	東京営業所	☎03-5386-5957	福井事務所	☎0776-26-8508	北九州事務所	☎093-522-1224
東北営業部	☎022-243-6621	多摩営業所	☎042-571-3434	近畿営業部	☎06-6915-7002	長崎事務所	☎0957-35-0161
盛岡営業所	☎019-636-1161	山梨事務所	☎055-275-7931	大阪営業所	☎06-6915-7041	大分事務所	☎097-533-8701
仙台営業所	☎022-243-6621	千葉営業所	☎043-287-8491	京都営業所	☎075-341-8151	熊本営業所	☎096-372-5211
青森営業所	☎017-729-2201	我孫子事務所	☎04-7183-4070	兵庫営業所	☎078-321-1822	宮崎事務所	☎0985-26-5908
秋田事務所	☎018-862-4441	横浜営業所	☎045-983-2332	和歌山事務所	☎073-473-8090	鹿児島営業所	☎099-254-8300
郡山営業所	☎024-946-7211	静岡営業所	☎054-288-3881	沖縄営業所	☎098-879-4916	住機製品事業部(東京)	☎03-3249-4803
山形事務所	☎023-632-2711	厚木事務所	☎046-222-1535	中国営業部	☎082-505-2525	住機製品事業部(大阪)	☎06-6452-6144
北関東営業部	☎028-621-6431	水戸営業所	☎029-248-8511	岡山営業所	☎086-262-2271	首都圏住宅営業部	☎03-3249-4850
宇都宮営業所	☎028-621-6431	つくば事務所	☎029-849-2344	広島営業所	☎082-505-2525	西部住宅営業部	☎06-6452-6231
群馬営業所	☎027-364-9811	中京営業部	☎052-205-5811	福山事務所	☎084-924-7196	西部リモデル営業所	☎06-6452-6171
埼玉営業所	☎048-669-0660	名古屋営業所	☎052-205-5811	山口事務所	☎083-974-0303	首都圏リモデル営業部	☎03-3249-4925
熊谷事務所	☎048-527-5601	三河事務所	☎0564-65-8681	四国営業部	☎087-866-8500		
信越営業部	☎026-222-6311	三重営業所	☎059-226-7073	高松営業所	☎087-866-8500		
新潟営業所	☎025-285-5887	浜松営業所	☎053-458-5751	松山営業所	☎089-945-8569		
長野営業所	☎026-222-6311	岐阜事務所	☎058-246-6752	徳島営業所	☎088-622-6261		

2008.10 現在

大建工業株式会社
DAIKENのホームページアドレス http://www.daiken.jp/